

ペスタロツチーの手紙

有馬良治譯

はしがき

茲に譯出したのは、かの「ノイホーフに於ては貧民の救濟者、
「グリーンハルトとゲルトルード」に於ては民衆の説教者、スタンツ
に於ては孤兒の父、ブルグドルフとミニエンヘンブクセーに於ては
新小學校の創設者、イフェルテンに於ては人道の教育者。人間・
基督教徒・市民。すべては他の爲にして何等己の爲にしなかつた」
わがペスタロツチーが、かの「貧者の友、下層民の救濟者、教育
の改革者たるペスタロツチーにふさはしき妻、四十年の間己なつ
くして彼の献身的事業の伴侶となり、身後に尊び敬ふべき記念を
殘した」わがアンナに書き送つた戀文の中の一連である。

凡そ一人の人を深く知る上に於て、その人の手紙が如何に重要
なものであるかは、何人もひさしく認める所であらう。特にわが
この偉大なる生活者ペスタロツチーの手紙、殊にはその戀文は、
之を慕ふ者の珍重おかざる所のものである。如何にその世の常の
それと著しく異なるか、如何にこゝにも亦彼の特異性が甚だよ
くあらはれてゐるかは、茲に譯出せる一通の上にもよくよまれう

ることを思ふ。

彼等の間の美しきエピソードは一にしてきゞまらない。それは
まだ彼が頑是ない子供の時分であつた。家號を「梨」といつた近所
の大きな菓子屋に菓子買ひに行つた。その店には彼より七歳年上
のみめうるばしい少女があつた。その少女は無駄使ひの悪いこと
を論じて彼を歸らしめたといふ。實に此の少女こそは後年のアン
ナ夫人であつたのだ。

彼は夙に社會惡を識り、その大學時代愛國の血は火を燃えた。
彼等のグループにあつて、これの牛耳をさつてゐたのはアルンチ
ユリーなる青年であつた。(彼は彼等のグループにあつてはメナル
クと呼ばれてゐた。)アンナの弟カスパーも亦同じ仲間であつ
た。その關係上アンナも亦彼等と相識り、その純情と明敏な頭腦は
よく時代の精神を解したのであつた。

かくてある中、才子多病、メナルクは恩師・盟友のつきせぬ哀
惜の中に、待つあるの身を以て、不幸夭折した。實にこの彼等共
道の畏友メナルクの死こそは、二つの當に合ふべかりし魂を、か
たく／＼結びつけるに至つた外的契機であつた。今や彼は平靜な

失つた。そして之をさりもごさんと努めたが、遂にその不可能なるをみて、思ひ切つてその閻々の情を訴へた。アンナは驚いた。しかし全然豫期せざる所ではなかつた。彼女はこゝに於ても亦、いさもやさしく、賢き姉の如き態度を以て臨んだ。即ち彼女は彼の餘りに情熱にはしれるをみた。彼女を餘りに買ひかぶれるをみた。彼の彼女のためつまづかんことを、彼女はこよなく恐れた。こゝに於て彼女は彼に暫く單に心友としてつきあはんことを求めた。そして心靜かにあるがまゝの彼女をみんことを求めた。なほ些の伴る所なく彼女の長所、短所をしらしむべきことを約した。實に茲に譯出する所のものは、彼の之に答へたものである。

かくて彼等はさもすればはやらんとする情熱を制しつゝ、つさめて平靜にあるがまゝのお互ひをしらしめ、又一らんとしたとしてしつた。彼等の全き理解は彼等の尊敬、愛慕の心を一層あはつた。しかも彼等のこの選ばれたる戀の行進曲も、なだらかに進まなかつた。先づアンナの兩親殊に母親が、彼等の結婚を喜ばなかつた。そしてそれは無理もない所であつた。世の常の人の目には如何にもそれは不釣合な結婚であつた。彼女の家は豊かであつたが、彼の家は貧しかつた。彼女は所謂才媛で、世の所謂良縁は降る様にあつた。しかるに彼はその顔や醜く、その舉措や粗野、世間的成功を約束すべき何ものをも有してゐなかつた。百方つさめた甲斐もなく、彼女は遂に兩親の全き理解を同意をうることをえぬまゝ、彼のもこにははらばならなかつた。

メナルクの死んだのが一七六七年五月廿四日、彼等がゲピストルフの教會で、淋しい結婚式を舉げたのは、その翌々年一七六九

ハスタタロットの手紙

年九月三十日のことであつた。

此の間二人の間にさりかはされた戀文の數は、實に五百餘通に上つたさいふ。しかもその一々はすべてが茲に譯出せるが如きものである。さればザイファルトもその編する彼の全集十二卷中、その二卷を此の戀文にあてゝゐる。

なほ二三を語つて筆を擱かう。「お前はたゞ水ミパンばかりで我慢しなければならぬだらう」こゝは、アンナの母親の訣別の語であつた。そしてその豫言は適中した。しかもそれは彼等の豫め覺悟せる所であつた。乞食をしてせめて人らしく生活せしめんがためには、己れ自らは乞食となるも厭はずさは、實に彼等の風に覺悟せる所であつたのだ。

彼等二人の生活は初めより終り迄、多事多難であつた。彼等は互ひに慰め、慰められしこによつて、又神を信するこによつてのみ、よく之に堪えたのであつた。アンナが死せる時、ハスタロットはその骸の上に聖書をおいて、我等がよく今迄困難を切抜けて來るを得たのは、實にこれによつてであつたさいふ。なほ當時七十の老翁ハスタロットが深夜獨り彼女の墓を訪れては、慟哭したさいふも、亦こゝろであらう。

わが貴き唯一の友よ！

私は此の數日、私共の間に起つたあらゆる事について、眞面目に考慮し初めました。貴き方よ、今

や私共の感情の流れを阻むべき時です。將來の全生涯、私共の全き幸福、祖國並びに子孫に對する義務、道德そのものゝ危機、これらは私共の取急ぎ自己反省し、且つ將來如何になすが私共の幸福であり、義務であるかを極めて嚴密に考究する必要があります。私共は、貴き方よ、これらのことについては人の行ひの唯一の正しき指導者、道理に従ひたいと存じます。あゝ、貴き友よ、私の願ひの感じや、愛慕のやさしき感情が今やそれにそむいてゐないことを！

私は、貴き友よ、あなたに、私が此の數日此等の問題について眞面目に考察した所を、全く包み隠さず申上げたいと存じます。私は、わが友が、これらの私共の幸福に密接な關係を有する考察の物靜かな眞理の中にこそ、快適なれど屢々全く餘りに賢明ならざる私の感じ易い心の騒々しき迸出――私は今それを一所懸命に控えてゐるのです――の

中よりも、眞の愛を見出だされるであらうといふことを、先づ承知致してをりますことを大層仕合せに存じます。

友よ、私共は恐らく私共の希望通りには相識ることをえないであらうといふことを、私は何よりも先づ申上げねばなりません。あなたは親切にも私にメナルクの友情を許し、友情を以て自由になたと交際することを許して下さいました。でも私はあなた並びに私の危険なしにこのお許しに從ふことの出来ないことを思ひます。私は今迄にも餘り頻繁にしかも考へなしにあなたの弟様をお訪ね致しました。私は今やあなたのお宅を訪問するのを差控えねばならぬことを思ひます。メナルクはあなたにとつてなくて叶はぬものになつてをりました、彼はあなたのお宅全體のお友達でありました、そして彼の訪問は永の年月御一家にとつては毎度のことでしたので、大して目立ちませんで

した。私は所があなたの弟様の友達、しかもかなり新しい友達にすぎませんから、世間の見る目も亦恐らく違ふ所があるでありませう。私はあなたのお宅のごなたにとつてもなくて叶はぬものではないありませんし、私のチューリツヒ滞在の期間ももう長いことはありますまい。しかもその間屢々留守にしなければなりません。私は此の間に於て、私をあなたの御宅に歡び迎へられるもの、私はこのことは申し上げたくないのですが、なくて叶はぬものとなす機會は、恐らく見出だし得ないでありませう、しかも單に私が多少とも自由にあなたとお話しても差支えないと、考ふことをゆるされる前に、私の豫めかゝるものたらねばなりません。それと共に申し上げねばなりませんことは、私は些かたりとも私の感情を抑制出来ないといふこととであります、かゝる場合私に出来る唯一の術すべはそれが目指す所のものから逃れることです。貴き

方よ、私は普通の觀察眼を具へた人にも、私の心の動搖をみてとられることなしに、半夜をあなたと共にあることは、ようなしえないであります。極めて大切な理由からしてなくて叶はぬ所の心遣ひは、私共の互ひに相見、相識の機會を、貴き方よ、大に少くするであります、しかも私共二人の關係がこゝまで進んだ以上、私共が一日も早くしん底からごくとお互ひ相識るといふことは極めて大切なことです、そして此の點に關しお互ひに吟味することが今、正に今必要缺くべからざることとであつて、それを怠る結果は一大事になるであらうといふ場合、それは私の希望の言葉ではなくて、沈思熟考の言葉であると信じます。

貴き方よ、私共はお互ひ全く卒直であることを信じて差支えない程度にはお互ひを識つてをります。私は手紙を交換し、その中では口で話すと同様に自由に一切のことについて意見を述べること

を提議致します。私共は如何にもして何等いつはる所なくお互ひ自分といふものをうちあげたく存じます。私共はお互ひ、此のために知りたいと思ふ一切につき自由に卒直に問ひ、又しかく答へることを約束したいと存じます、宛も理的に愛し合ふ人々の如く。私共は私共の感情に關しては、それを自由に流出せしめることが賢明な行爲であり私共の幸福であるか、又はそれを止めなければならぬのかについて、私共の意見が一致する迄は、注意深く警戒したいと存じます。

いとも貴き友よ！私はこの手紙の交換を直ちに初めます。私は私共が出来るだけ速かにお互ひ相識ることの不可缺なことについては今しがたお話し申し上げました。私はあなたが私を正しく速かにお識り下さるのに私で間に合ふことは何でも致したいと存じます。私は今や正に出来る限り私の心の底の底から、些も包み隠すことなくお知らせ申

したいと存じます。私は私の志を私の現在並びに未來の事情に照らし、私自身常にそれを見てゐるが如き朗かさを以て、あなたにお示し申したいと存じます。

いとも貴きシユルテッスさん！私の數多い缺點の中で、私の將來の境遇に於て最も重大なものに思はれるのは、淺慮、不注意並びに、私に利害關係を有する事情の上に豫期せざる變化が突然生せる場合に於ける落付きの不足です。私は精々努力してこれらの短所を矯す様にもしますし、もつと經驗もつみ齡を加へましたなら、必然的に物事の落付いた判断も出来る様になりませうが、それにしてもこれらの短所がどの位まで矯されるものか分りません。今の所それは私の愛してゐる乙女に隠すことの出来ない程度のものです。それは、わが貴き方よ、あなたの充分なる御考慮に値する短所です。それは他日極めて氣遣はしい結果を生む

に至ることがあるかも知りません。

私にはなほ私の屢々不合理な感受性に基因する種々の短所があります。私は毀譽褒貶に於て極めて屢々極端に流れます。私は友達の缺點が殆ど全く分りません。それがはつきり分ると彼等に對し餘り寛大でもありませんが。又或種の善行に對しては大に心をひかれ屢々その度を過す程です。私は多くの善行を實際餘りにも好みすぎます。祖國や友達の不幸に際會しては、それに關し何等私に責はなくとも、私自身も不幸なるを覺えるのです。それは賢明なことでもなく、義務でもないのです。私共は凡て避くべからざる出來事に際しては、神の攝理を認めて、じつと口を緘し、凡そ世に起る事は最もよしと信すべきであります。私はなほ此の點に於て極めて足らざる者であります。わが愛する友よ、そしてこれは同時に大にあなたの御注意に値する點です。私の心の朗さと落付きがこ

のために傷けられる日もあるであらうことは恐らく御察しになりませうが、それが或時にあつては私をまるで別人みたいにすることもありませう。もとよりそれがため私の義務の遂行が妨げられるなどいふ程のことはないだらうと信じますが、かゝる逆境にある場合なほ常に變らぬ朗さと落付きを以て義務の遂行が出来る程偉くは恐らく遂になり得ますまい。

色々な禮儀や凡てそれ自身に於ては何等重要ならざるすべてのことに關し、私の極めて、實際大に無頓着な事については中上げる必要はありません、それは私を一目見た方は御存じです。私ほでも此の無頓着といふ缺點を矯す様に努めるであります。しかし今そんなことを語る必要がどこにありませう。

私は私といふものをすつかり分つていたやくために、夫婦關係と教育に關する私の根本的見解に

就て、數言あなたにお話しすることを必要と存じます。友よ、あなたは既に教育に關する私の見解は御存じです、そしてそれは、貴きシユルテツスさん、實に私の寸毫もたがふまじと決心してゐる所の根本の見解です。

私の息子達は、智育は極めて注意深くなされるにも拘らず、田を耕さねばなりません、そして怠惰なる都人士の血を私から些かなりとも繼いではなりません、次に夫婦關係に就てはこの事を申上げねばなりません、わが貴き方よ。私はわが愛妻に對する義務も、わが祖國に對する義務の下位につくべきものと考へてをります。そして私は極めてもの饒しい夫であるでありませうが、私が市民としての義務を正しく果すことを、妻が涙を以て妨げようとする時は、わが妻の涙に對しても情なくすることを、私の義務と考へてをります、よしそれがどんな結果にならうとも。私の妻たるものは

私の心をよく知つてゐるもの、私のどんな大事な相談事にも加はるものであり、私と共に私の子供の教育に當る唯一の女性でなければなりません。極めて質素なることが私の家では大切でありませう。極めて嚴格な私の子供の教育がそれを要求する程に。私の家の家計は一般に大に制限せられたものでありませう、そして子供達の幸福のための心遣ひは、私をしてわが妻の些細な過ちに對してすら苛酷ならしめるでありませう。私は、いともよきシユルテツスさん、あなた自身もあなたの愛し給ふであらう夫にかゝる事を要求なさることを存じてをります。私は、あなたがこれらの事については多少御異議の點もおありだらうと信じて疑ひません。それでも、貴き方よ、あなたが私といふものを充分知つて下さるために、あなたがこれらの點に關しても私の意圖を充分知つて下さるために、私は申上げねばなりません。わが貴き友よ、あ

たはこれらの意圖が私にふさわしきものと信じ
 になりますか、又私と共にそれを實現なさること
 があなたのため幸福か否か、あなた自身で御判断
 下さい。

友よ、申上げておかねばならない極めて大切な
 方面が今一つあります。わが貴き方よ、私にメナ
 ルクの地位をお譲り下さつたのは當にあなたのみ
 ではありません、彼自身も亦——全く異なつた意圖
 よりして——しかしたのでした。御承知の通りメナ
 ルクはずつと將來を見通した決斷にとんでをりま
 した。彼はその心遣ひの一部を私のためにさいて
 くれてゐました、そして私と一生運命を共にせら
 れんことを私の哀願する乙女に、この方面のこと
 を一切お知らせすることは私の義務です。

いとも貴きシユルテツスさん！重大な極めて氣
 遣はしい事業なしには私の一生はすぎ去ることは
 ないであります。私はメナルクの教へど、一身

を祖國のため全然獻げんどの私の最初の決心を
 忘れることはないであります。私は祖國の利益
 のため口を開かざるべからざることを知る時は、
 世間に對する怖れよりして敢えて語らずといふ様
 なことは決してないであります。祖國の御用に
 立つためには、私は自分の命も、妻の涙も、子供
 達のことも忘れてしまふであります。メナルク
 は偉い男でした、貴き方よ、とても私など及びも
 つきません。彼の意圖の實現が私に出来るかと思
 ふ時、おぼつかなさにもふるへます、それでも
 人の道、義務、私の心、私の祖國は私にその事を
 要求します。私はたゞ命これ従ふであります。
 さりながらさても私のかゝる事業にふさわしから
 ざることよ！どんな結果が私の頭上にふりかゝる
 ことでせう、しかもこのことをあなたにお告げす
 ることは如何に大なる私の義務であります。

それはしかし尤よりそんな事もゐるかもしれな

いといふだけのことです。私が私の幸福のため、妻の安心する様、又子供達の幸福のため、極めて細やかな心遣ひを以て、心掛けるであらうことは御疑ひなさらぬだらうと存じます。かゝる種の期待はかなり報ひられるかもわかりません、全然夢であるとは申せません。そして其の上私其の結合は——それはしかし全然他の根據よりして決定せられるでありませうが——その點に關し極めて大なる寄與をなすでありませう。あなたの五人の御兄弟は悉く獨特の方法でこれらの見解の實現につとめられるでありませう。そして皆様もお加はりの新しいグループはあなたの知己を大いに増すことでありませう。そしてこのことが、かゝる種類の事業に於ける危険を少くする上に、又凡てあらゆるよき意圖の實現にとつて如何ばかり有利なるかは御存じの通りです。

けれどもそんな事は申し上げるのを止めます。

私共は物事をこんな見方でみたくはございませぬ。私は續いて私を脅かしてゐるあらゆる危険、私自身認めてをりますあらゆる缺點を包み隠さずおあかし致したいと存じます。貴き方よ、萬一私が自ら省みて何等やましい所のない或る行爲に於て不幸を招くことがあつたとしても、あなたはそれに堪えて下さいませぬ。しかし私は私の不注意、私の落付きの不足が心配だといふこと、他日かゝる困難なる種類の行動に於て、自らを是認して慰めて之に堪えるといふわけにかぬ様な不幸に遭遇するかもわからぬといふことを、わが友にかくすことは出来ませぬ。確かに私の熱心より出づる眞に正しきことであるといふお考へが、あなたにあつて、かゝる危険の思ひを大に薄らげることもあらば、私の喜びは如何ばかりでありませう。貴き方よ、私は充分身を慎むでありませう、しかし私はあなたに——こともかくしだしてはなりません。

ん、友よ。

貴き愛する友よ、善といふこと——それは私の志に賛同することによつてあなたの獲得し確立し得る所です——が、あなたの心にあつて、あなたがさらされる危険の思ひを凌ぐか否か御吟味下さい。貴き方よ、如何に私があなたを戀ひ慕つてゐるかあなたは御存じです。あゝ、一切を御吟味下さい、貴き方よ。此の吟味に當つて屢々御注意を御願ひするのは、わが貴き方よ、危険も恐らく決して我共の平和をかき亂すことほないであらう、多くの善行の意識は危険にあつてもなほ私共の平和と幸福を保つことが出来るであらうといふことです。又あなたの友はあなたにすつかりお告げた缺點については細心の注意を拂ふであらうといふ事も御考へ下さい。

私の健康状態も、わが貴き方よ、あなたの御注意を要する新しい方面です。このことについては

友よ、私はそれを大して悪いものだとは思ひませんと申上げることができません。たしかに全くの健康體ではありません、なほ屢々發作的に熱が出ます。それでもそれも數年來危険の徴候と共に大に減退して、たゞ感情の安靜さえ守つたら大抵大丈夫です。私はずつと私の健康状態についてはホツツ博士に相談してゐますが、些かの危険も認めないといふことです。でも結局恐らくはあなたが私よりもずつと長生きなさるでせう、私はこの事も隠しだて致しません。わが貴き方よ、私はこの考へへの極めて重大なることを存じてをります。私はその事を色々考へ、安心立命の地を見出だしました。恐らくそれはあなたの御満足をも買ひうると思ひます。心靜かに御考察下さい。假令私が死すとも、私の友人達は競つて私の子供を私の思ひ通りに教育してくれるのでありませう。友よ！他のグループでしたら恐らくこれ程のことはございません

まい、とてもかゝる極めてありうべき場合に於てか程の慰安の地を見出すことはないであります。私が私は大確信を以て私の友人達に信賴して宜しいのです、私は臨終に當り、子供達に不自由さずだらうなごとは、恐らく考へないでせう。そしてあなたも、わが貴き方よ、假令私共が互に手を握りし、やがて私が死んで行くとしても、その時は私が生前あなたに與へることが出来たと同様なやさしさですべての満足を私の友人達に見出たされるであります。決して私の子供達は孤兒の不幸を感ずることはないであります。そしてわが妻もまた私のないといふだけの寡婦の歎きを有するにすぎないでせう。如何に神はずでにこゝに於て眞實と善行を嘉し給ふことよ、かゝる友達を惠まるとは何たる天福ぞや！かゝる友達を失はないためには如何なる犠牲をか惜まう。かくも彼等を信賴することを許さるゝとは何たる天福ぞや！友

よ！私があなたに求婚するに當つて、あなたが私の友人達からうけられるであらう所の利益は私の大の自慢です。私はこの利益を彼等に對する私の愛の深さによつて測つてみるのですが、それは實際全く大なるものでありません、我が貴き方よ！私の友達の中には私よりも賢くして人格優れたる者が如何に多いこととせう！私共の子供達はこの道徳的にすぐれた青年達の澤山な元氣のいゝ子供達の間で如何に成長することとせう！でもこんな話はやめて、私の心の感動をこゝめまます、事情が心靜かに熟考し、細心に注意することを要求してをりますから。

わが愛する、わが貴き友よ！私は今や私の性格や私の陥るであらう重大な状態に就て腹臆なくお話し申上げました。わが友よ、すべて慎重に御考察下さい。私には御告げ申しましたこれらの澤山の缺點の外確かになほもつと多くの缺點がありま

す。これらの諸性質を御知らせするのは私の義務でありましたが、それがためよしあなたの私に對する尊敬の念が薄らぐことあるども、私の眞實さは買つて下さいませう、そして私が私の性格に關するあなたの知識の缺乏を私の意圖を達するために悪用しないことを御覽になつては、萬更さもしい男とお考へになりませんでせう。今やよく／＼お考へ下さい、貴き方よ、かゝる缺點を持ち、かゝる事情の下にある男にあなたの心を寄せられてなほ幸福であり得られるか否かを。それに就て御心をおきめになるのに、もしなほこれ以上お知りになる必要があまりの節は、如何なるお質ねにしる御質ね下さいませうなら、此の手紙で御覽の通りの率直さを以てお答へ致すでありませう。

わが貴き友よ、私はあなたを心からそして色々な感じを以て戀ひ慕ふ者であります。此の舉に出づるに就ては、私には理性と公正を失はぬ必要が

ありましたので、全くなか／＼のことでした。私はあなたがあるがまゝの私といふものを御承知になつたなら、あなたを、わが貴き方よ、失ふことになるのではないかと心配です。私は屢々黙つておかうと思つたのでしたが、遂に私は己れにうちかちました。私の良心は私に聲高く叫びました、もし私が愛人に、他日彼女をして心を惱ましめ又不幸ならしめることもあるであらう所の私の心の性質又はその他の事情を、黙して語らなかつたら、私は誘惑する者にして愛する者ではないと、そこで私は今やかゝる態度に出たことを喜んでゐます、よしこれがごんな結果を生まうと、もし私の心情がその最も奥底に於てなほあなたのそれにふさはしからざるものなるに於ては、義務と祖國が私を呼ぶ様な事情が、私の願望と希望に一の目的をおくであらう場合には、私は少くとも賤しむべき邪惡なる舉動には出ないであります。私

は欺いて迄あなたのお氣に入らうとは心がけませんでした、見込みもない幸福をさも見込がある様に、あなたにいつほる様なこともありませんでした、私は將來の危険・惱みにつき何等隠したて致しませんでした、此の點私には何等疚しい所はありません。

貴き友よ！私はたゞに自分のことばかりでなく、あなたについても同様細心に吟味致しましたが、私の悟性は私の激情に賛意を表します。あなたが私と一緒にすることによつて幸福をえられることが出来ますなら、私もそれによつて幸福たりえます。あなたは逃へ向きの良妻賢母に出来てゐます。私にあつては極めて重大な缺點の一原因となつてゐる所の敏感性も、あなたにあつては、わが貴き方よ、主婦なる境遇の單純なるため、何よりのものであります。もしもあなたが私にあなたの心を捧げ、私と一生の運命を共にすることを御決心下

さいませうものなら、私は如何に幸福であらうかと、色々考へることです。私はあなたを一方ならず戀ひ慕ふものでありますが、友よ、私の腕の中にあつて幸福なるを充分御確信の場合のみ、私はあなたの愛の酬ひを希望するものなることを御承知下さい。

今少し、わが貴き方よ！私はあなたを戀ひ慕ふものであると申上げました。あなたは私の敏感性を御承知です。あなたの私にお許し下さいました友情は、私の希望の感じをつなぐでありませう。友よ！萬一私がこの希望をすてねばならぬ事情に立至る様な場合は、この希望の維持が如何に重大な結果を私の上に及ぼすかを洞察されるために、私といふものを充分御識り下さい。わが貴き方よ、こんなことを申上げて、おゆるし下さい。私には私自身ならびにわが祖國に對する大なる義務がありますので、かゝることを願慮するの必要がある

のです。私はあなたが一切の吟味をまたずして、充分心を落ちつけ腹がきまらない中に、どやかうおつしやることを欲しません、貴き方よ、あなたはその點私を御信頼下さいませう。私は又あなたの御吟味を些かなりとも妨げる様なことはないであります。たゞ、わが友よ、出来るだけそれを早目にお願ひ申します。わが愛する方よ、御承知の通り長くはぐくみ育てられた激情を抑へつけることはなか／＼のことです。貴き方よ、お互ひ此の件につき私共のなすべきことは、取急ぎきまりをつけませう。わが唯一の友よ、もしあなたがあなたの心を與へ給ふ價值あるものと私をお思ひならば、早速、あなたの心があなたにかく告げると共に、かくと私にお告げ下さい。然る時は私共は天下晴れて、無邪氣に相愛する者のあらゆるよろこびにひたることを許されるであります。静かに静かに私共の激情は妨げられず流れ、私共

の幸福となり、もはや何等の不安、心配、非難の種とはならぬであります。それは私共の義務の遂行をすら促すことであります。さりながら萬一あなたの心が、私と緊密な關係に立つ時あなたは幸福たりえないであらうと、あなたに告げるならば、もつと早目にかくと私に御告げ下さい。御急ぎ下さい、これは一大事でございませうから。あなたの心があなたにそれに關しきつぱり告げると、時を移さずはつきりかくと私にお告げ下さい。なほこの事も御承知おき下さい、わが貴き方よ！私はこれに就て理性や靈やはたまた愛、殆どあらゆる方面よりして、かゝる場合に於てもなほ理性的に又基督教的にふるまふ様覺悟は出來てをります。私はかくする事の大なる義務なることを覺えました。私は、わが貴き方よ、あなたの御幸福を切に／＼望むものです、そのためには一切のことに堪えうるであらうと考へる程に。

貴きシユルテツスさん！相見ざること如何に久しいことぞございませう。ほんとにどの位になりますかしら。メナルクが死んだのはいつでしたか。お互ひごとく語り合ひたいものと願つてからの位になりますかしら。貴き方よ、いつ御會ひ出来ませうかどうぞ早速お知らせ下さい。貴き方よ、どこか人通り少ない散歩道をきめておいてそこで會ふわけにはいきませんか？あなたのお家の別荘附近の森で、お互ひ待合せることにきめることは恐らく出来ないことぞせう？なほ屢々聲の家に出かけても差支えないか、これもおつしやつて下さい。こゝに於て私は如何にふるまふべきかも腹臆なくおつしやつて下さい。

今少し、わが貴き友よ！私の今迄の仕事は私に於て氣晴らしへの大なる傾向を豫想してゐた様でありました。あなたが私自身を此の點に關して極めて缺點ある者と御信じになつてゐると、信ずべ

き理由があります。あなたが御散歩になによりの上天氣でと私に挨拶なさいましたのはつひ近頃のことです。私は何といふことなしに友達の家で談笑してゐるのだと信ずると、あなたは一度ならず私にお告げになりました。あなたはかつてメナルクの面前で、私が好んでうろつきまはるといつて私をおとがめになつたことがありましたね。私は未だかつて非難に對して言葉を以て自己辯解をしたことはありません。たゞ聞くだけ聞いて、内に安んずることをうるならば、私はそれで満足致しました。今やしかし場合がちがひます、私共はお互ひをよく識らねばなりません。私はすでに私の缺點に就て包みずお話し申しましたから、私が此の點では眞實を語らないとはお疑ひになりませんぞせう。私は事實或時期迄は極めて多くの知合ひを有し、極めて廣く交際し遊びまはりました。私の交はつた人々の多種多様でその數の多かつたこ

と、あなたにお目にかゝるあらゆる機会をつかんだ私の熱度とは、かゝる考へを一般的且つ殆ど不可避的なるものとししました。とにかく、わが貴き方よ、私は保證しますが、私をしてかゝるふるまひに出でしめたのは、私が遊びたかつたからではなくて、かくすることが有益だと考へたからでした。私も、貴き方よ、孤獨や家庭的静けさの樂しみを解してをります。正にかゝる訪問にあつて厭なく思ひをしたことが幾度もありました。私は根本的見解の下に又義務よりして私の時間をかく用ひたのでありました、—御信じ下さい、わが貴き方よ、かゝる手廣い交際の時代は今や事實すぎ去りました。貴き方よ、私はより大なる仕事にふさはしいものとなるため、今や愈々益々自制するであります。しかしながらわが祖國の青年達と相識るために費した時間もまた私は非難致しません。かゝる目のあつたことは他日私の上に極め

て重大な結果を及ぼすことでありませう。貴きシユルテツスさん、私はあなたがこの點に關しては私を是認下さらんことを希望致します。

貴き方よ、如何に私はメナルクに代らんことを願つてゐることでせう！あなたに私の熱心をお示しする機會、あなたの喜ばれ、あなたのおためになる様なことを何ぞする機會を如何に望んでゐることでせう。所が私共は恐らく滅多に相見ることはないでありますから、一遍たりとも私はあなたにとりメナルクたりえないであります。貴き方よ、お手紙の中ではぎつくばらんにお話し下さい、丁度あなたが口づからメナルクとお話しになつてゐた様に。私の判断や熱心があなたのお役に立ちうるとお信じの節はいつでも、一切をお告げ下さい。もし私があなたのお望みを充すことを怠けてゐると御覽の節はお叱り下さい。

私は、わが貴き方よ、此の長い手紙を終ります

私はそれを讀返す時、その順序の亂れ、足らざる所の多いことを知つてをります。私は一切にわたり、あなたに申し上げます。私は一切にわたるのであります。この手紙を書くには絶えず中断せられました。そしてたゞ獨りある寸時を盗まねばなりません。かゝる事情にありましたので筆も思ふに任せませんでした。それでも色々と書いてありますから、あなたの御注意には値すると思ひ、あなたにお渡し申しても差支えあるまいと信じます。御受取り下さい、わが貴き愛する友よ、そして常に幸福なれ。でもあなたはお讀みになれますかしら。私の叔父が見ましたら、金釘流だと申すことでございませう。しかも私はそれを、

貴き方よ、わが唯一の友に敢えてお手渡しせうとするのです！その中にも亦私の性格の一片が隠れてゐます。でもペンのせいもあるのです。

今一度、御機嫌よろしう、貴き方よ、そして早速御手紙下さい、そして早速御會ひ下さい。

あなたのPより。

(Haeberlin u. Scholhaus Postleuzzi in seinem Briefen, S. 51—64)